大腿骨近位部骨折の手術を受けられる患者様へ　　入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟（病室）　（　　号室）　患者氏名　　様　主治医　　印

主治医以外の担当者

特別な栄養管理の必要性　有　・　無　　サイン

説明年月日　　年　　月　　日

月日	／　～　／	／	／	／	／　～　／	／　～　／	／　～　／	／
経過	入院～手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2～7日目	術後8～10日目	術後11～16日目	術後17日目以降
症状								
達成目標	疼痛のコントロールができる 心身共に安定した状態で手術を受けることが出来る		疼痛のコントロールが出来る 術後感染の徴候がない　合併症の症状がない		転倒予防を理解できる			
活動・安静度	ベッド上での安静です 上半身は起こせます		許可がでるまで 起き上がれません	足が上がれば体重をかけることができます　許可がでれば車椅子に乗れます 状態により徐々に体重をかけて歩行訓練を開始します				
食事	夕食から食事を提供します 手術前日の21時からは絶食です 水分は摂取できます	手術の時間によって水・お茶を飲んで良い時間が決まっています 看護師がお伝えします	食事は食べられません 術後3時間で水分を飲めます	朝食：ゼリーが出ます 昼食から元の食事が出ます →				
内服・点滴	現在内服中の薬は入院後看護師にお渡し下さい お調べします 必要時点滴します	朝、必要な薬があれば飲んでいただきます 点滴を行います	痛みが強い時は痛み止めの薬を使用します	痛み止めが出ます(7日間) 必要な薬は内服していただきます 抗生剤の点滴を行います				
清潔・排泄	尿の管が入ります			清拭を行います 尿の管を抜きます	術後2日目よりシャワー浴が出来ます 無理な場合は清拭を行います			傷の状態によりシャワー浴か入浴ができます
検査	入院時採血・レントゲン・心電図等の検査をします		レントゲンを撮ります	朝、採血があります	術後7日目に採血・骨密度検査・レントゲンがあります		術後14日目に採血があります	
処置	骨折している方の足を引っ張る処置をします 足の下に枕を入れて挙上します 必要時弾性ストッキングやフットポンプを使用します 患部を冷やします		翌朝まで酸素を吸入します 患部を冷やします 適宜傷の消毒・ガーゼ交換があります ストッキング・フットポンプは続けます				傷の状態を見ながら抜糸を行います	
観察	適宜足の状態や血圧などをチェックします		頻回に血圧や熱の測定があります　足の状態も観察します	適宜傷の観察や血圧や熱の測定を行います				
リハビリ	必要があれば術前よりリハビリを実施しま			ベッド上でのリハビリ開始します　可能であ 座位→車椅子→立位へ進めていきます	歩行や日常生活の自立に向けて運動を実施します →			
教育・説明・指導	手術日までに手術についての説明を医師より行います 入院についての説明を看護師から行います 手術の書類にサインをいただきます		手術後、医師から話をします	離床についての説明をします	転倒予防について説明します 術後3日目栄養指導をします		術後15日目栄養指導をします	
退院後の治療計画	入院から退院支援について医療相談員より説明があります				必要があれば介護保険の説明をします		足の状態によりリハビリの継続が必要な場合があります＊その場合は転棟や転院が必要です。 退院時予約票をお渡しします	
退院後の治療上の注意点							退院後の注意点について説明を行います 次回受診日の説明を行います	
その他療養計画	〈看護〉							

・診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。
・入院期間については、現時点で予想されるものです。

医師より診療計画内容について十分説明を受けましたので、実施に同意します。

年　　月　　日　患者又は家族署名　　続柄（　　）